

平成30年7月17日(火)
 (教) 高校教育課
 高校教育改革推進係(齋藤)
 内線番号4639

桐生・みどり地区新高校基本構想〔概要〕 **桐生高校・桐生女子高校の統合による新高校**

新高校の概要

- 桐生高校と桐生女子高校の統合による高いレベルの進学を目指す新高校**
- ・**設置課程等** 全日制課程 募集定員:男女320人(8学級)
 - 普通科:男女240人(6学級)
 - 理数科:男女80人(2学級)
 - 通信制課程 桐生女子高校通信制を引き継ぐ
 - ・**設置場所** 桐生高校校地(桐生市美原町1番39号)
 - ・**開校時期** 平成33年4月
 - ・**移行措置** 平成33年度に桐高・桐女の2・3年生は新高校へ転学(一括方式)

教育目標

生徒の自由な発想・チャレンジ精神を尊重し、幅広い知識の獲得とその活用を通して、未来を牽引する資質・能力を育成する

特色ある教育内容

学習

1 教育課程編成の基本方針

- ・高いレベルの進学への対応
 - 1週間当たり34単位の授業時間
 - ・「探究的な学習(総合的な学習の時間)」の充実
 - 「スーパーサイエンスハイスクール」及び「英語科」のノウハウを継承
 - 「主体的・対話的で深い学び」の推進

2 教育課程編成の工夫

<普通科>

- ・2類型制による多様な入試科目への対応、英語教育の充実

<理数科>

- ・2コース制による理数の学びを生かせる幅広い分野への対応、理数教育の深化

<探究的な学習>

- ・問題解決的な活動(「課題設定」、「情報収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」)を重ねていく学習
- ・知識・情報・技能が加速度的に更新されいくこれからの中社会において、答えのない課題に対して粘り強く取り組み、最適解を見いだす力を身に付ける
- ・英語によるレポート作成や発表も行う
- ・新しい大学入試や、大学での学び・研究活動にも役立つ

キャリア教育 進路指導

- ・探究的な学習と連動したキャリア教育プログラム
- 1年次:「学びの技法」の習得、職業観の育成
- 2年次:「学びの技法」の活用、志望校明確化
- 3年次:探究成果の発信、進路目標の達成



- ・社会を生き抜く資質・能力
- ・複眼的視座と社会貢献意識

学校行事部活動

- ・伝統の融合による魅力化、活性化
 - 両校の学校行事を発展的に再構築
 - 両校の部活動を原則として継続
- ・協働性、リーダーシップの育成
 - 両校の伝統である生徒主体の運営の継承

施設整備(予定)

- ・特色ある教育内容を実現するため、必要な整備を行う
 - H30年度 基本・実施設計等
 - H31~32年度 本体工事等

平成30年7月17日(火)
(教) 高校教育課
高校教育改革推進係(齋藤)
内線番号4639

桐生・みどり地区新高校基本構想〔概要〕 桐生南高校・桐生西高校の統合による新高校

新高校の概要

- 桐生南高校と桐生西高校の統合による大学進学を始め多様な進路を実現できる新高校
- ・設置課程等 全日制課程 普通科 募集定員:男女240人(6学級)
 - ・設置場所 桐生西高校校地(桐生市相生町3丁目551番1号)
 - ・開校時期 平成33年4月
 - ・移行措置 平成33年度に桐南・桐西の2・3年生は新高校へ転学(一括方式)

教育目標

生徒の人格形成に努め、確かな学力と豊かな人間性の向上を図るとともに、様々な課題を主体的に解決し、地域のリーダーとして幅広く活躍できる資質・能力を育成する

特色ある教育内容

学習

1 教育課程編成の基本方針

- ・進学重視型単位制(1週間当たり32単位)
→ 国公立大学進学にも対応した、個を生かす指導の充実
- ・ハイレベルコース(仮称)の設置
→ 意欲の高い生徒を入学段階から受入れ

2 教育課程編成の工夫

- ・多彩な選択科目による幅広い進路への対応
→ 進路に合った選択科目を少人数で効率的に学習
- ・学年を超えた柔軟な学習
→ 実技系科目(音楽、スポーツ等)では、2・3年次共通の選択科目を開講

<進学重視型単位制高校>

- ・「単位制」とは、生徒一人一人が、多彩な選択科目の中から、進路希望や興味・関心に合わせて学ぶ科目を選択し、「自分の時間割」をつくって学習するシステムである。
- ・新高校は、国公立大学や私立大学の各入試に対応した選択科目を充実させ、生徒の進学を的確にサポートするとともに、その他の多様な進路にもきめ細かに対応できる「進学重視型単位制高校」とする。

キャリア教育 進路指導

- ・単位制の学習を支えるきめ細かなガイダンス
→ 時間割作成から進路実現まで丁寧に支援
- ・個々の生き方を見つけるキャリア教育プログラム
→ 自ら設定したテーマの学習を通して、自分の生き方を追求

学校行事 部活動

- ・学校規模の拡大を生かして活性化
→ 両校の伝統ある学校行事や部活動を中心に充実
- ・豊かな人間性とリーダーシップの育成
→ 生徒が主体的に学校行事等の計画に参加

施設整備 (予定)

- ・特色ある教育内容を実現するため、必要な整備を行う
→ H30年度 基本・実施設計
→ H31~32年度 本体工事等